

平成28年度第3回逗子市廃棄物減量等推進審議会

議事録

日	時	平成28年12月26日（月）午後2時から4時
場	所	逗子市環境クリーンセンター2階 会議室
出席者		[委員] 橋詰 博樹、松岡 夏子、鈴木 マリ子、山崎 純一、 渡邊 仁史、尾方 克実、田宮 良子、山上 寿美
欠席者		[委員] 南川 秀樹
事務局出席者		環境都市部次長（減量化・資源化担当） 資源循環課長事務取扱 石井 義久 資源循環課資源循環係長 中川 公嗣 資源循環課資源循環係専任主査 鈴木 均 資源循環課資源循環係主事 佐藤 節 環境クリーンセンター所長 藤井 寿成 環境クリーンセンター副主幹収集係長事務取扱 中村 純一 環境クリーンセンター処理係長 松岡 幹夫 環境クリーンセンター主査 高橋 世勝
会議公開の可否		可
傍聴者		0名
議題等		逗子市環境クリーンセンター視察 (1) ごみ処理広域化経過報告 (2) 環境クリーンセンター概要説明 (3) 視察 (4) その他
配布資料		平成28年度第3回逗子市廃棄物減量等推進審議会次第 平成28年度第1回逗子市廃棄物減量等推進審議会議事録（案） 資料1 生ごみ処理施設視察概要 資料2 議案等資料（補正予算資料）（*葉山町とのごみ処理連携関係） 資料3 ごみ処理広域化経過

- 資料4 焼却処理原価相当額の算出
- 資料5 葉山町とのごみ処理の連携に関する市民説明会配付資料
- 資料6 葉山町とのごみ処理の連携に関する市民説明会質疑
- 資料7 葉山町とのごみ処理の連携に関する市民説明会ご意見シート
- 資料8 環境クリーンセンター位置図
- 資料9 環境クリーンセンター周辺土地利用状況図
- 資料10 環境クリーンセンター平面図

【事務局】 定刻になりましたので、ただいまより平成28年度の第3回逗子市廃棄物減量等推進審議会（以下、「審議会」）を開催します。本日は、年末のお忙しい中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。逗子市環境クリーンセンターの見学が今日のメインということでこちらまでお越しいただきました。少し手狭なところで申し訳ありませんが、よろしくお願い致します。

会議の前に事務局からご報告がございます。委員の松本真知子さんですが、第1回の審議会直後に体調を崩され、ご本人から辞職したいとの申し出がありました。慰留しましたが、ご意思が固く、辞職されました。以前より闘病中との状況はお聞きしていたところですが、残念ながら、10月にお亡くなりになられたとのこと。ご冥福をお祈りいたします。

松本真知子さんの後任につきましては、今年度任期が替わってあまり日が経っていなかったもので、6月に市民委員を公募した際の次点の渡邊さんをお願いしたところ、ご快諾いただきました。10月に生ごみ処理施設を視察した際、ご紹介する時間がなく申し訳なかったのですが、改めてご紹介します。渡邊さんよろしくお願い致します。

【渡邊委員】 実は前の審議会でもお世話になっていて、顔見知りの方が何人かいらっしゃいます。私の方にも、松本さんから「急なんだけど代わってもらえないか。」と連絡をいただき、やらせていただくことになりました。引き続きよろしくお願い致します。

【事務局】 ありがとうございます。よろしくお願い致します。

それでは、資料の確認をさせていただきます。お持ちでない方はお申し出ください。事前に送付しました資料は、

平成28年度第3回逗子市廃棄物減量等推進審議会次第

平成28年度第1回逗子市廃棄物減量等推進審議会議事録（案）

資料1 生ごみ処理施設視察概要

資料2 議案等資料（補正予算資料）（*葉山町とのごみ処理連携関係）

資料3 ごみ処理広域化経緯

資料4 焼却処理原価相当額の算出

資料5 葉山町とのごみ処理の連携に関する市民説明会配付資料

資料6 葉山町とのごみ処理の連携に関する市民説明会質疑

資料7 葉山町とのごみ処理の連携に関する市民説明会ご意見シート

資料8 環境クリーンセンター位置図

資料9 環境クリーンセンター周辺土地利用状況図

資料10 環境クリーンセンター平面図

です。お手元に資料はお揃いでしょうか。不足のものがあればお渡しします。

皆さんにお送りしました議事録に手違いがございまして、机上に差し替えを配布しています。また、渡邊委員が10月に就任された新たな名簿と、本日の施設見学の説明用の資料として、パンフレットと全体平面図を机面上にお配りしています。

本日、委員9名中8名出席で、逗子市廃棄物減量等推進審議会規則（以下、「規則」）上、会議が成立していることをご報告します。南川会長が急遽病欠なので、申し訳ありませんが、橋詰副会長に進行をお願いできればと思います。橋詰副会長よろしく申し上げます。

【橋詰委員】 規則で会長が欠席の場合は、副会長が代行するという事なので、よろしく申し上げます。

最初に、平成28年度第1回審議会の議事録（案）について、特にご意見がなければ確定してよろしいですか。ありがとうございます。

次に今日の環境クリーンセンター見学の流れについてご説明いただけますか。

【事務局】 本日の予定をご説明します。最初に、お配りしている資料と環境クリーンセンターの概要について説明し、それから視察に入りたいと思います。

視察の順番は、最初に車で浄化センター、ペットボトル選別処理施設、最終処分場に移動します。こちらに戻る途中で容器包装プラスチック選別処理施設、焼却施設、粗大ごみ処理施設、植木剪定枝資源化施設と回り、最後に最終処分場を上からご覧になっていただく予定です。状況によっては多少変更が生じる可能性もあります。その際はご了承ください。よろしく申し上げます。

次に、お配りした資料についてご説明します。資料1は前回の視察の概要なので、ご覧になっていただければと思います。資料2から7までが、第1回審議会の市長挨拶で少し触れられ、また平成27年度の最後の審議会でもお話しました葉山町とのごみ処理広域化について、一部既存施設での共同処理検討を進めている関係の資料です。資料3「ごみ処理広域化の経緯」に、国、神奈川県（以下、「県」）主導で始まった平成9年頃からの検討の経過が載っています。三浦半島地域でのごみ処理広域化を途中で断念し、4市1町のブロックが二手に分かれたということもあり、なかなか具体的に進まなかった経過がございまして。当初県のブロック割に基づき横須賀市、三浦市、鎌倉市、逗子市、葉山町の4市1町で進めていたのですが、横須賀市・三浦市・葉山町のブロックと鎌倉市・逗子市のブロックに分かれてしばらく検討を進めていたところ、横須賀市・三浦市・葉山町のブロックから離脱した葉山町が、このたび逗子市・鎌倉市

ブロックに入ることになり、資料3の3ページに記載のとおり平成28年5月31日に、第1回鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会を設置し、2市1町の協議を進めていくことになりました。その後、同年7月29日には2市1町の覚書を締結しました。覚書の基本方針に基づき、ごみの広域処理による効率化を図るため、新しい施設を作るのではなく、既存施設での処理能力の余力の範囲で、共同処理の早期実現を図っていくということで、今日見ていただく逗子市の焼却施設で葉山町の可燃ごみの一部受入れをスタートします。それにあたって8月7日に開催しました説明会の資料が資料5になります。資料5の7ページから覚書の内容です。資料5の9ページ覚書の基本方針(3)、「既存施設における共同処理の可能性を協議・検討し、早期実施に取り組みます。」という位置付けで、まず逗子市の焼却施設で葉山町の可燃ごみの共同処理を試行的にスタートさせるということです。説明会における主な質疑とアンケートに書かれていたご意見の内容が資料6と7にございますので、ご覧になっていただければと思います。

この12月議会に、まずは試行的に今年度2月と3月の2ヶ月間、200トンずつ受け入れるという補正予算を提案しています。戻っていただいて資料2が今回の議会に出しました補正予算の内容で、逗子市の方は葉山町の可燃ごみを受け入れるに当たって、1キロ当たりの処理経費単価30.36円で、受け入れる予定の400トンをかかけた処理負担金を、逗子市の歳入として予算化するものです。逆に葉山町は12月の議会で処理負担金を支払う方の予算を提案して、いずれも議決を得て2月から開始する段取りになっています。本市の議会においては全会一致で賛成いただいて可決され、2月からまずは試行的に少量の受入れを始めるというところでございます。受入れを開始してからの状況については、次回の審議会でご説明し、ご意見をいただければと思います。資料7までにつきましては以上でございます。

資料8から10については、環境クリーンセンターの位置図で、横浜市との境に位置しているということを入れていただければと思います。周辺の土地利用としては、神奈川県立逗子高校がひと山越えた場所にあるということ参考までに示してあります。環境クリーンセンターの施設がどのような配置になっているかというのが資料10です。施設については環境クリーンセンターから説明します。

環境クリーンセンター所長の藤井と申します。アウトドアな職場ですから、初めておいでになる方もいると思います。広い土地の中に施設が点在しています。国有地を市が借りて設備を作っているという状況です。年末になって先週ぐらいからごみの持ち込みとステーションの収集量が増えています。持ち込みの車が多く、見学にあたっては、我々も安全にさせていただき

ますが、皆様におかれましてはなるべく列から離れないなど、基本的なことを守っていただければと思います。小学校4年生が社会科見学でこちらに来て、やはり突然の大きな音や臭いにおいに驚いて、集団を離れたり駆け出したりとかいうことが多いものですから、特に年末の忙しい時期に入っていますので、ご留意いただきたいと思います。

今日の順路としまして資源循環課から聞いている内容ですと、最初に県道沿いにある浄化センター、し尿処理施設、ペットボトル選別処理施設、最終処分場を見ていただくこととなります。し尿処理施設につきましては、逗子市の下水道普及率がほぼ100パーセントで、実際に収集しているのは汲み取り式のトイレも数十件ありますが、工事の仮設トイレ等が主になっております。浄化センター、ペットボトル選別処理施設は、鎌倉市の神中運輸というところとパブリックサービスというところに委託契約して運転しております。

最終処分場につきましては、中に入ると状況によってはぬかるんでいたりするので、ピットの上の所から見ていただく形になると思います。市で持っている最終処分場の延命化を図るため、家庭ごみ有料化の前から焼却灰を熔融固化しております。毎年大体どのくらい容量が残っているかという調査をしますが、今のところ、あと30年くらいもつだろうということになっています。焼却残渣ではなく、破碎残渣を本当に少しの量入れていましたが、家庭ごみの有料化に伴って焼却炉に余裕ができたので、今試験的に破碎残渣を焼却していて、最終処分場に入れている残渣はありません。あと30年という寿命につきましても、今のところは残渣を入れていないので、継続して容量は確保できている状況です。こちらは第3期処分場です。

上がってくる途中にあった容器包装プラスチックの選別処理施設は、古い時期の第2期処分場の上に仮設という形で立てています。仮設ですので、入れている機器も設備もすべてリースです。電気も自家発電の機械を置いて動かしています。選別業務につきましては、パブリックサービスに委託しています。

あと焼却施設、粗大ごみ処理施設、植木剪定枝資源化施設とまわり、最後に最終処分場の上からの視察を予定しております。焼却施設は今のところ月曜日に立ち上げて金曜日に立ち下げるといった運転の仕方をしております。今日は月曜日ですから、まだ立ち上がっていません。こちらの空調施設が排熱を利用した設備になっています。

年末に向けて、役所が28日に御用納めですが、カレンダーの区切りのいいところが30日金曜日なので、30日まで稼働しています。ざっくりした説明ですので、あとは現場で聞いていただいた方がよろしいと思います。私と収集係長、処理係長と処理係の職員1人を説明に付けますので、その説明の途中でどんどん聞いていただければ、答えられる範囲で答えていきたいと思

います。

【橋詰委員】 ご質問があれば聞いていただければと思います。

【渡邊委員】 1点、仮に生ごみの堆肥化施設を設置するとすれば、この土地の中のどのあたりとか、もくろみはありますか。

【事務局】 現時点では特にございません。市長が今年の市政方針で表明した考え方では、生ごみ処理施設について、葉山町との共同処理を検討するとあるので、それも含めて全く現時点でどこにというのはありません。

【渡邊委員】 もう1点。粗大ごみの処理施設は更新の予定があるようなないようなお話を聞いた覚えがありますが、それは計画としてはありますか。

【事務局】 粗大ごみの処理施設はかなり老朽化してきているので、こちらの方が生ごみ処理施設よりも先かなと思います。同様に広域処理、共同処理の検討をしていくという考えになっていますので、現時点で方針は示せない状況です。

【渡邊委員】 資料3で地域計画を来年度以降どうするのかということが11月までで止まっていますが、今年度地域計画を見直して何かしら動くような話というのは特にはないですか。今年度申請来年度、新しい5カ年と7カ年という話は。

【事務局】 相手のあることなので、ある程度方向性が見えてきたら、地域計画という形でお示しできればと思います。

【橋詰委員】 それでは、視察を行いたいと思います。案内よろしくをお願いします。

(視察)

【橋詰委員】 お疲れ様でした。ご質問等ありますか。

【尾方委員】 粉にしたガラスびんの残渣はまた使うのですか。

【事務局】 いろいろな色が混ざっていますし、他にもせともの等が入っていますので、すり潰した後は、もとのガラスにはならないです。

【尾方委員】 何に使うのですか。

【事務局】 人工砂として、アスファルトの下に敷いたりします。

【尾方委員】 最終処分場にガス抜き管がありましたが、灰でもガスが出るのですか。

【事務局】 焼却灰は焼けていますので無機物ですが、不燃残渣の中に若干入っているので、ガス抜き管を設置することになっています。

【尾方委員】 ありがとうございます。

【橋詰委員】 他はいかがでしょうか。

【山上委員】 葉山町のごみ運搬車はどの道を通るのですか。

【事務局】 現在協議中で、神武寺トンネルが工事中ため通行止めになっているので、2月から3月に試行的に受け入れを始める中で、経路を何パターンか試してみようという話になっています。ただ、月200トンの受け入れだと8トン車で1日2往復ぐらいなので、時間帯を選び、経路も配慮すれば、逗子市内の交通状況へそうそう影響はないだろうと考えています。あと葉桜近辺はパッカー車での直送を試してみて、影響があれば、基本的に積み替えということになるかもしれないし、試行しながら状況を見て検討していきます。

【山上委員】 ありがとうございます。

【橋詰委員】 他はよろしいですか。それではその他事務局から何かあれば。

【事務局】 次回以降の審議会について、今回の審議会もなかなか日程が合わず、年末ぎりぎりの時期になってしまいましたが、次回も会長と相談しながら、日程調整させていただければと思います。今年度は予算上あと2回ありますが、諮問答申という形でいつまでに結論を出していただくというような議事事項は予定していませんので、視察していただいた生ごみ処理施設について、基本計画に基づく検討の方向性をフリーで議論していただいたり、葉山町との共同処理の状況をご報告し、ご意見をいただきたいと考えています。よろしくお願ひします。

【橋詰委員】 それではこれで閉会します。ありがとうございます。

— 了 —